

図表9 学校を終えた若者(15~24歳) 無業と非正規が 半分近くに

労働力調査 既卒の若者のなかの、無業あるいは非正規の比率は、1990年代半ばから急上昇した。1993年から2003年まで、高卒・大卒ともに、新卒者の就職率は大幅に下がった。労働市場の構造転換は若者を直撃したのである。

急増した
「貧困家族」

